



校長室 だより

平成30年 5月 7日

尼崎市立常陽中学校

校長 小谷 豪郎 No.2

今の子節を、立夏といひます

あおあおとした深緑の木々、さわやかな風、気持ちの良い五月晴れの子節です。

最近はお家庭で鯉のぼりを揚げるという風習も少なくなって来たような気がしますが・・・田舎に行けば、川にロープを渡して沢山の鯉のぼりを風に泳がせるそんな風景が全国的に見られるようになってきていますね。尼崎市内でも阪急園田駅近くの藻川の河川敷公園で、川に沿って沢山の鯉のぼりを揚げているのを見かけました。

鯉のぼりの風習は、江戸時代のころに、滝をのぼって龍になるという「鯉の滝登り」の逸話にちなんで、男の子の立身出世を願う武士の家々で掲げ始めたそうです。

というわけで、先生も常陽中の生徒全員の健康で健やかな成長を願い、職員室前に小さな鯉のぼりを飾りました。



また、地域では、そろそろ田植えが始まる時期になりましたね土を耕し水が張られた田んぼの畦から、蛙の鳴き声が聞こえてくる、そんな自然の中からも季節の移り変わりを感じてください。

2・3年生には以前もお話ししました、常陽中学校が建っているこの場所は、豊かな土地でおいしいお米が沢山とれていた所です、そういった地域の歴史も知っておいてください。

そして、現在は地域の方々に暖かく見守られ農作物に代わり、常陽中学校の生徒たちが、健康で健やかに、優秀な人材として素晴らしい大人にそだってほしい、という地域の皆さんの思いをしっかりと胸に刻み1日1日を大切に「今を最高に生きる」のローガンを実践していきましょう。

チーム常陽の活躍

5月の連休中に、各競技の「市民スポーツ祭」が開催されています。そして、6月30日からは中学校最後の総合体育大会が始まります。3年生の皆さんは1日でもこの仲間たちと一緒に時間を大切に頑張りましょう。

※ 市民スポーツ祭の結果は次回にお届けします。

修学旅行 in 沖縄!

初めての飛行機に乗るという生徒が多かったようで離陸する瞬間は機内に大きな歓声が上がります、皆ハイテンションでした。快適な空の旅を過ごし沖縄に到着。心地よい風が吹き湿度も低く爽やかな気候でした。

初日は、平和学習で戦争遺跡を巡り最初に「ひめゆりの塔」へ行きガイドさんから話を聞きました。こんなに深い洞穴の中が病院の代わりになっていたそうです。

次に平和公園に行き、兵庫県縁の「島守の塔」などを見学し「平和の礎」の前で平和集会を開き全員で黙祷をし、みんなで作った千羽鶴を奉納しました。

初日の平和学習の最後はガマ体験です。このような鍾乳洞の壕に戦争当時は何百人という人たちが生活していたそうです。明かりを消すと真っ暗で何も見えませんでした。

初日の夜は、夜レクで盛り上がり2日目のマリンスポーツに備えて全員爆睡でした。



ドラゴンボートにビーチバレービーチフラッグ、海底まで透き通った美しい海での遊泳など、東シナ海に面した美しい沖縄の海を満喫しました。

2日目のメインは午後からの民泊です読谷村の方々の三線と太鼓と踊りに迎えられ入村式を済ませ、各家庭へと出発です。

1泊だけでしたが、手作りの尼崎を紹介するスゴロクを家族の皆としたり、名物のサーターアンダーギーを作ったり、歴史の話を聞いたり、様々な体験をさせていただきました。次の朝には三線が弾けるようになった生徒もいました。

お別れの会では、地元の方々の三線で全員でカチャーシーを踊ってお別れしました。

3日目は、米軍の嘉手納基地を見学しその後、班別で首里城を見学し「ゆいレール」に乗り最終目的地、国際通りへと向かいましたが、到着と同時に大雨しかし、1時間ほどで小雨になり各班で昼食を摂りお土産店を見て回り沖縄最後の日を満喫し、空港に集合する時には皆大きなお土産袋を持って集まりました。



【今月の言葉】

『 人生で一番いけないこと、それはあれこれと理由をつけて、何もしないこと 』

一度きりの人生です、時間を無駄にせず、精一杯に笑ったり、泣いたり、そして、自分に何ができるか挑戦しなければ、後悔しますよ。